

TAD

TAD-D700
DISC PLAYER

OWNER'S MANUAL



安全上のご注意（安全にお使いいただくために必ずお守りください）

- あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを説明しています。
- 表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときに及ぼす危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。




警告

「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

注意

「人が軽傷を負うまたは可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容」です。

- お守りいただく内容の種類を次の絵文字で区分し、説明しています。

 注意（警告を含む）しなければならない内容です。	 必ず行っていただく内容です。
 禁止（やってはいけないこと）の内容です。	

警告



異常が発生したときは、すぐに使用をやめる

- 音が出ない、煙が出ている、変なにおいがする、変な音がするときは、電源プラグを抜く
- 本機を落としたり、内部に水や異物が入ったりしたときは、電源プラグを抜く

そのままお使いになると、火災・感電の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いて、販売店に修理をご依頼ください。



風呂場・シャワー室など水滴のかかる場所では使用しない

火災・感電の原因となります。



本機をぬらさない

火災・感電の原因となります。



本機の上に水などの液体の入った容器を置かない

本機の上に、花瓶、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。本機の上に水などの液体がこぼれたり、液体が中に入ったりすると、火災・感電の原因となります。



本機の上に火のついたローソクなど裸火を置かない

火災の原因となります。



表示された電源電圧（交流 100 V、50 Hz/60 Hz）以外の電圧で使用しない

火災・感電の原因となります。



不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いたところに置くと、倒れたり落下したりしてけがの原因となります。



通風を妨げない

本機の内部に熱がこもり、火災・感電の原因となります。また、次のような使い方をしないでください。

- あお向け、横倒し、逆さまにする
- 押し入れなど、風通しの悪い狭い場所に設置する
- じゅうたんやふとんの上に置く
- テーブルクロスなどをかける



ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない

感電の原因となります。



電源プラグや電源コードを破損しない

電源プラグや電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。破損して、火災・感電の原因となります。また、電源プラグや電源コードの修理は、販売店にご依頼ください。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全だと、感電や発熱による火災の原因となります。また、緩んだコンセントは使用しないでください。



電源プラグにほこりがたまらないよう、定期的に掃除をする

湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因となります。電源プラグを抜いてから、乾いた布で拭いてください。



カバーを外したり、改造したりしない

本機の内部には電圧の高い部分があり、火災・感電の原因となります。



ディスクトレイ部などから、内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしない

火災・感電の原因となります。



雷が鳴り出したら、本機や電源プラグには触れない

感電の原因となります。



小さな部品は幼児の手の届くところに置かない

万一飲み込んだ場合にはただちに医師と相談してください。

注意



油煙、湿気、ほこりの多い場所に置かない

調理台や加湿器などのそばに置くと、油煙・火災・感電の原因となることがあります。



直射日光が当たるところなど、温度が異常に高くなる場所に放置しない

火災・感電の原因となることがあります。



本機を他の機器と接続するときは電源を切る

本機をオーディオ機器、スピーカーなどに接続するときは、それぞれの取扱説明書をよく読み、電源を切ってから接続してください。また、接続するときは指定されたケーブルを使用してください。



本機の上に重いものや、外枠からはみ出るような大きさのものを置かない

バランスがくずれて倒れたり、落下したりしてけがの原因となることがあります。



本機の上に乗らない

倒れたり、壊れたりしてけがの原因となることがあります。



ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しない

ディスクが飛び散ってけがの原因となることがあります。



レーザーを使用している機器では、レーザー光源をのぞきこまない

レーザー光が目にあたると視力障害を起こすことがあります。



付属の電源コードは本機の専用部品です

付属の電源コードは、本機のみで使用することを目的とした専用部品です。他の機器では使用できません。本機では、付属の電源コード以外、使用しないでください。他の電源コードを使用した場合、本来の性能が出なかったり、電流容量の不足で発熱したりして、火災・感電の原因となることがあります。



長期間お使いにならないときは、電源プラグをコンセントから抜く

通電状態で放置・保管すると、絶縁劣化・漏電などにより、火災・感電の原因となることがあります。




この機器を使用できるのは日本国内のみです、海外ではご使用になれません



10 cm 以上のすきまをあける

- 本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。
- また、放熱を良くするために、他の機器との間は少し離して設置してください。
- ラックなどに入れるときは、本機を天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。
- 内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

 <p>愛情点検</p>	長年ご使用のオーディオ機器の点検を!	
	<p>このような症状はありませんか</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源コードや電源プラグが異常に熱くなる。 ・電源コードにさけめやひび割れがある。 ・電源が入ったり切れたりする。 ・本体から異常な音、熱、臭いがする。 	<p>→</p>
	<p>ご使用 中止</p>	<p>故障や事故防止のため、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店にご相談ください。</p>

本機の使用環境温度範囲は5℃～35℃、使用環境湿度は85%以下です。
 風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光(または人工の強い光)の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

注意

この製品は、レーザー製品の安全基準 IEC 60825-1 : 2007 規格の基で評価されたクラス 1 レーザ製品です。

クラス 1 レーザ製品

D58-5-2-2a_A1_Ja

設置する場所

組み合わせて使用するステレオシステムの近くの、安定した場所を選んでください。

本機を末永くご愛用いただくために、次のような場所には設置しないでください



- 直射日光のあたるところ
- 湿気の多いところや風通しの悪いところ
- 極端に暑いところや寒いところ
- 振動のあるところ
- ホコリやタバコの煙の多いところ
- 油煙、蒸気、熱があたるところ (台所など)

上にものをのせない

本機の上にものをのせないでください。

熱を受けないように

本機をアンプなど、熱を発生する機器の上にものをのせないでください。ラックに入れる場合はアンプや他のオーディオ機器から出る熱を避けるため、アンプよりできるだけ下の棚に入れてください。

本機を使わないときは電源を切る

テレビ放送の電波状態により、本機の電源を入れたままテレビをつけると画面が乱れる場合がありますが、本機やテレビの故障ではありません。このような場合は本機の電源を切ってください。ラジオの音声の場合も同様にノイズが入ることがあります。

本機を移動する場合

本機を移動する場合は必ずディスクを取り出し、ディスクトレイを閉じてください。さらに本体の **電源ボタン** (またはリモコンの **DISC PLAYER ボタン**) を押し、表示窓の [OFF] 表示が消えてから電源コードを抜いてください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。

ガラスドア付きラックに入れたときのご注意

ガラスドアを閉めたまま、リモコンの **▲ OPEN/CLOSE ボタン** を押してディスクトレイを開けないでください。ディスクトレイの動きが妨げられると、故障の原因となります。

本機のお手入れ

本機の清掃は、お手持ちのポリッシングクロスでから拭きしてください。汚れがひどい場合は中性洗剤を 5 ~ 6 倍に薄めた水に柔らかい布を浸し、よく絞ったあと、汚れを拭き取ってください。シンナーやベンジンなどの揮発性の薬品を用いるとパネルの表面が侵されることがありますので使用しないでください。またスプレー式の殺虫剤などを本機の近くでは使用しないでください。化学ぞうきん等をお使いの場合は、化学ぞうきん等に添付の注意事項をよくお読みください。

結露について

冬期などに本機を寒いところから暖かい室内に持ち込んだり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部 (動作部やレンズ) に水滴が付きます (結露)。結露したままでは本機は正常に動作せず、再生ができません。結露の状態にもよりますが、本機の電源を入れて 1 ~ 2 時間放置し、本機の温度を室温に保てば水滴が消えて、再生できるようになります。夏でもエアコンなどの風が、本機に直接あたると結露が起ることがあります。その場合は本機の設置場所を変えてください。

もくじ

安全上のご注意	2
使用上のご注意	5
設置する場所.....	5
本機のお手入れ.....	5
結露について.....	5
はじめに	7
主な特長.....	7
お使いになる前に	8
付属品の確認.....	8
リモコンに電池を入れる.....	8
再生できるディスクについて	9
再生できるディスクの種類.....	9
各部の名称とはたらき	10
電源部前面 / 本体部前面.....	10
電源部背面 / 本体部背面.....	11
リモコン.....	12
設置と接続	13
設置.....	13
接続.....	14
ディスクの再生と取り扱い	15
ディスクを再生する.....	15
ディスクの取り扱いかた.....	15
設定する	16
ECO (省エネ)モードを使う.....	16
SACD の出力レベルを抑えて聞く.....	16
ハイサンプリングモードで出力する.....	16
本機を D/A コンバーターとして使う.....	16
ALL RESET.....	16
故障かな?と思ったら	17
仕様／保証とアフターサービス	19
仕様.....	19
保証とアフターサービス.....	19

所有する喜びと誇り、聴く喜びと感動のために

「TAD」という名称は「Technical Audio Devices」の頭文字から命名されました。これは、1975年にパイオニア（株）において最高級スピーカー開発プロジェクトの発足時、技術顧問として参画し、当時 USA プロオーディオ界の第一人者であった故バート・ロカンシーの「基本的に忠実な技術こそ本物の技術であり、技術志向に傾くことなく、常に音質を最重視する技術こそ本物の技術である」という理念に基づく、「綿密な理論検討と正確な実験に裏付けられた工学的アプローチ」の手法を表現したものです。

自らのスピーカー理論を実践するための新境地を見出したバート・ロカンシーと、その思想と哲学を受け継ぐエンジニアたちの、決して妥協を許さぬ技術への探究心が、「TAD」という存在そのものなのです。

この「TAD」の意思を受け継ぎ、TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC. は設立されました。

私たちは、当社の持つ最高の技術で、皆様へ聴く喜びと感動を提供していきたいと考えています。

主な特長

「超高 C/N ※ マスタークロック回路」「第三世代 UPCG ※※」を搭載

従来より、高音質化のためマスタークロックはトータルジッター量の低減に注力されてきましたが、TAD ラボでは特に中心周波数に対するサイドバンドの低い周波数におけるジッターの低減に着目し、低位相ノイズを追求した「SC カット水晶片」を採用することで「UPCG」を第三世代へと進化させ、音質や C/N の更なる向上を図りました。

高速デジタル通信基地局などで使用される技術手法をベースに、ディスクプレーヤーに要求される性能を極めた専用発振器による高純度マスタークロックがディスクに刻まれた信号の再現性を極限まで高めています。

* C/N：搬送波対雑音比（Carrier to Noise ratio）

** UPCG：Ultra high Precision Crystal Generator

電源回路を高純度化

電源トランスの内部巻線を直出しすることで引き出し線との接点を極力削減し、高純度化を追求。また、直出し線のターミナル、基板マウントターミナル、締結ビスに非磁性のメッキと OFC 純銅を採用し、磁性歪を徹底的に排除しています。

並列接続差動型 D/A コンバーター

パーブラウン製 D/A コンバーター（192 kHz/24 bit）を並列接続で使用し、S/N 比、リニアリティ、ダイナミックレンジ、歪率などのオーディオ性能の向上を図っています。これにより、微小な音楽信号までも再生でき、より開放的な音楽を再現します。

独立電源部

本機は、電源部を独立筐体としています。本体部から分離することで、CD トランスポートメカやオーディオ回路への電源部からの不要振動、漏洩磁束の悪影響を排除しています。さらに、オーディオ用の電源トランスには 400 VA というパワーアンプ並みの超強カトロードトランスを搭載、いかなる信号にも追従する高い応答性能を誇り、力強さとローノイズの両立を実現しています。

高精度ローディングと静粛性に優れた独自の CD メカを搭載

高精度で正確な再生を極めるために、CD/SACD メカニズムにも TAD 独自のこだわりと工夫を凝らしています。新設計の「高剛性 CD/SACD メカニズム」は、金属軸受けを採用した高精度ローディング機構により、制振性に優れた動作を実現。無限系光路を採用したピックアップ部は高安定動作と高い読み取り精度を誇ります。

高剛性低重心構造

外部からの振動の影響を抑えるために 3 点支持の鋳造アルミニウムによる高剛性シャーシを採用しました。重量のある極厚ベースを下部に配置することで低重心構造とし、更なる振動制御を実現しています。これによりスピーカーからの音圧等の振動に対して非常に安定した再生を可能にしています。

DAC モード

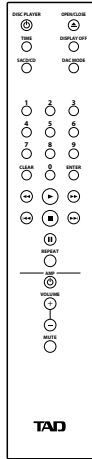
高精度 D/A コンバーターと超高純度マスタークロック発振器を持つ本機は D/A コンバーターユニットとしても高い性能を発揮します。サンプルレートコンバーターを搭載し、超高純度マスタークロックでリクロックを行うことで、高精度変換が可能です。

お使いになる前に

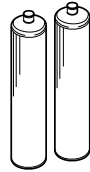
付属品の確認

以下のものが入っていることを確認してください。

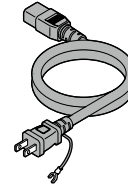
● リモコン× 1



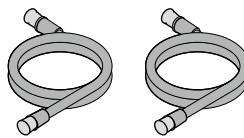
● 単4形乾電池× 2



● 電源コード× 1



● DC コード (75 cm) × 2



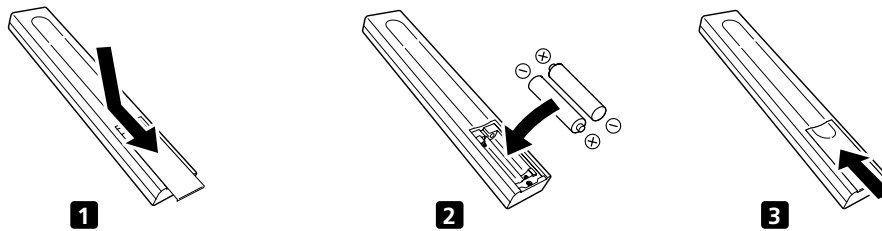
● ポリシングクロス× 1

● フェルト× 2

● 保証書× 1

● 取扱説明書 (本書)

リモコンに電池を入れる



リモコンの操作範囲が極端に狭くなってきたら、電池を交換してください。

警告

- 電池を直射日光の強いところや、炎天下の車内・ストーブの前などの高温の場所で使用・放置しないでください。電池の液漏れ、発熱、破裂、発火の原因になります。また、電池の性能や寿命が低下することがあります。

注意

電池を誤って使用すると、液漏れしたり破裂する危険性があります。以下の点について特にご注意ください。

- 新しい電池と古い電池、また、種類の異なる電池を混ぜて使用しないでください。
- 乾電池のプラスとマイナスの向きを電池ケースの表示どおりに正しく入れてください。
- 電池は単4型マンガン乾電池 (R03) または単4型アルカリ乾電池 (LR03) を使用してください。
- 長い間 (1 カ月以上) リモコンを使用しないときは、電池の液漏れを防ぐため、乾電池を取り出してください。液漏れを起こしたときは、ケース内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。
- 不要となった電池を廃棄する場合は、各地方自治体の指示 (条例) に従って処理してください。

再生できるディスクの種類

下記のマークはディスクレーベル、パッケージ、またはジャケットに付いています。

SACD



CD



CD-R



CD-RW



“Super Audio CD” は登録商標です。

SACD の再生について

SACD は 2 ch のみ再生可能です。

コピーコントロール CD について

当製品は音楽 CD 規格に準拠して設計されています。CD 規格外ディスクの動作保証および性能保証は致しかねます。

DualDisc の再生について

「DualDisc」は、片面に DVD 規格準拠の映像やオーディオが、もう片面に CD 再生機での再生を目的としたオーディオがそれぞれ収録されています。

DVD 面ではないオーディオ面は、一般的な CD の物理的規格に準拠していないために、再生できないことがあります。なお、「DualDisc」の仕様や規格などの詳細に関しましては、ディスクの発売元または販売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW ディスクの再生について

本機は音楽 CD フォーマットの音楽データが記録された CD-R/CD-RW ディスクを再生することができます。ただし、ディスクによっては「再生できない」、「ノイズが出る」、または「音が歪む」などが起こることがあります。

本機は再生専用機です。CD-R/CD-RW ディスクに録音することはできません。

ファイナライズしていない CD-R/CD-RW ディスクを再生することはできません。

※詳しくはレコーダーの取扱説明書をご覧ください。

⚠ 注意

- レコーダー、またはコンピューターで記録した CD-R/CD-RW ディスクを再生できないことがあります(原因:ディスクの特性、傷、汚れ、プレーヤーのレンズの汚れ、または結露など)。
- コンピューターで記録したディスクは、アプリケーションの設定、および環境によって再生できないことがあります。正しいフォーマットで記録してください(詳細はアプリケーションの発売元にお問い合わせください)。
- パケットライト方式で記録されたディスクは再生できません。

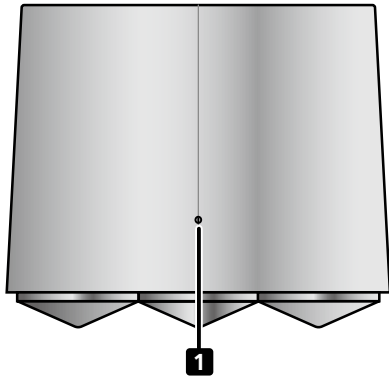
本機で再生できないディスクの種類

BD、BD-ROM、DVD、CD-G、ビデオ CD、8 cm CD

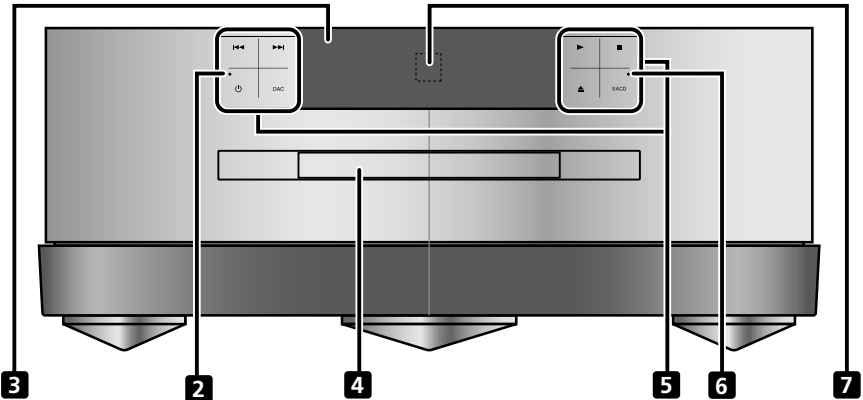
各部の名称とはたらき

電源部前面 / 本体部前面

電源部



本体部



- 1 **POWER インジケータ**
電源がオン時にはオレンジ色に点灯します。
- 2 **POWER インジケータ**
電源 (POWER) の状態が表示されます。
オレンジ色点灯：オン (動作可能状態)
赤色点灯：スタンバイ (待機状態)
- 3 **表示窓**
本機のおもむきさまの動作の状態を表示します。
- 4 **ディスプレイ**
- 5 **操作キー**
文字やマークの中央部分を触れて操作します。
◀◀ - 再生中の曲の始めに戻ります。
▶▶ - 次の曲に進みます。
⏻ - 電源をオン / スタンバイ (待機状態) にします。
DAC - デジタル外部入力に切り換わります。
▶ - 再生します。再生中に押すと、一時停止になります。
■ - 再生を停止します。
SACD - ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換えます。
▲ OPEN/CLOSE - ディスクトレイを開閉します。
*本体の OPEN/CLOSE ボタンは SACD/CD ファンクション時のみ有効です。
- 6 **SACD インジケータ**
SACD 挿入時、および SACD/CD ハイブリッドディスクの SACD 層の選択時に点灯します。
- 7 **リモコン受光部**
約 7 m 以内の距離からリモコンをここに向けて操作します。

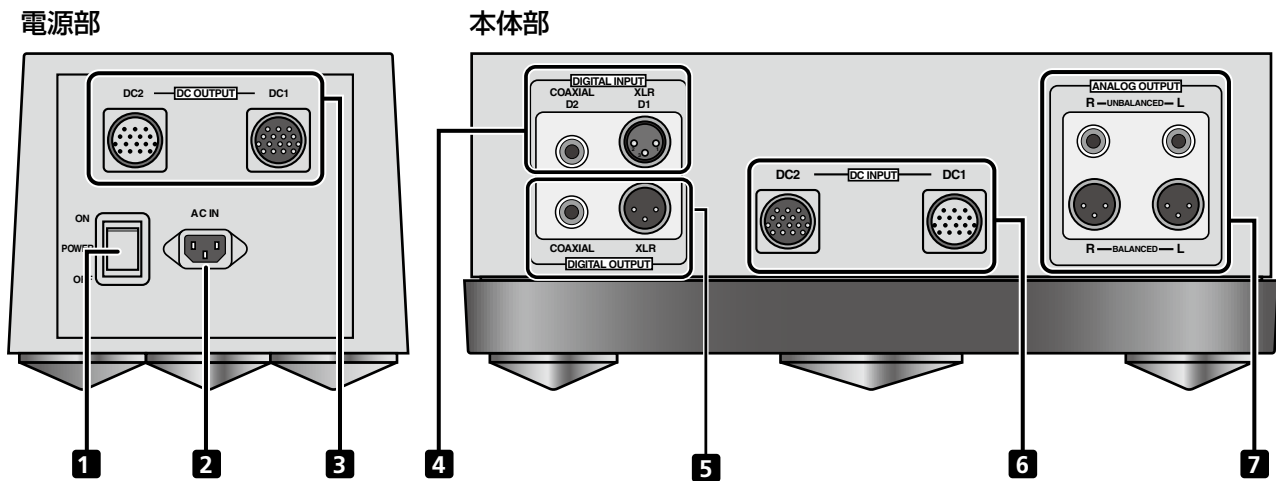
⚠ 注意

電源の供給を完全に停止するためには、電源プラグ (遮断装置) を抜く必要があります。本機を電源コンセント近くに設置し、電源プラグ (遮断装置) に容易に手が届くようにしてください。



ディスクを停止すると、リピート再生は解除されます。

電源部背面 / 本体部背面



1 主電源スイッチ (POWER ON/OFF)

主電源のオン / オフを行います。上側を押すと電源がオンし、リモコン、または本体の **ボタン** でスタンバイ / オン操作ができますようになります。下側を押すと電源がオフします。

2 AC IN 端子

付属の電源コードを接続します。

3 DC (DC 1/DC 2) OUTPUT 端子

付属の DC コードを接続し、本体部と接続します。

4 DIGITAL INPUT 端子

デジタル出力端子を持つ機器に接続します。

- XLR (バランス) タイプ (D1)
- COAXIAL (同軸) タイプ (D2)

5 DIGITAL OUTPUT 端子

デジタル入力端子を持つ機器に接続します。

- XLR (バランス) タイプ
- COAXIAL (同軸) タイプ

6 DC (DC 1/DC 2) INPUT 端子

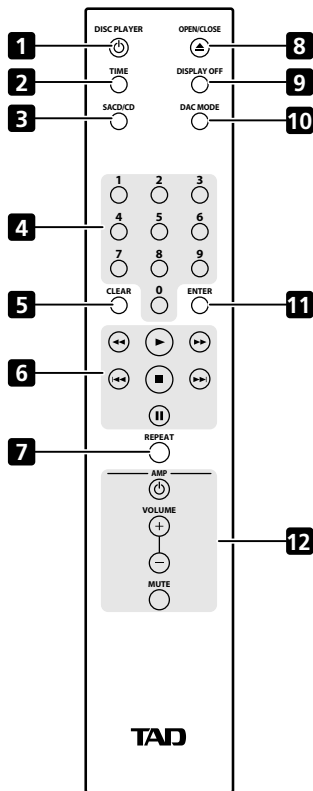
付属の DC コードを接続し、電源部と接続します。

7 ANALOG OUTPUT 端子

プリアンプに接続します。

- RCA UNBALANCED (アンバランス) タイプ
- XLR BALANCED (バランス) タイプ

リモコン



1 〇 DISC PLAYER ボタン

電源をオン/スタンバイ（待機状態）にします。

2 TIME ボタン

ディスクの経過時間や残量などを表示します。ボタンを押すたびに、[曲の残り時間表示] / [ディスク全体の残り時間表示] / [経過時間表示（通常表示）] が切り換わります。

3 SACD/CD ボタン

ハイブリッドディスクの再生エリアを切り換えます。ボタンを押すたびに、「CD エリア」と「SACD エリア」が切り換わります。

4 数字ボタン

聞きたいトラックを指定して再生したいときに使います。数字ボタンで選択して ENTER ボタンを押します。

5 CLEAR(クリア) ボタン

選んだ項目を取り消します。番号の入力を間違えたときなどに使います。

6 再生操作ボタン

▶ - ディスクを再生します。

■ - ディスクを停止します。

|| - 音声を再生中に押すと、音声が一時停止します。もう一度押すと通常の再生に戻ります。

◀◀ - 再生中、早戻しをします。

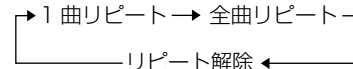
◀◀ - 現在再生中のトラックの始めに戻ります。

▶▶ - 再生中、早送りをします。

▶▶ - 次のトラックの始めに送ります。

7 REPEAT (リピート) ボタン

ボタンを1回押すごとにリピート再生モードが変わります。



曲を繰り返し再生します。

8 ▲ OPEN/CLOSE ボタン

ディスクトレイを開閉します。

9 DISPLAY OFF ボタン

本体表示窓を消灯させるときに使用します。

10 DAC MODE ボタン

DACモードに切り換わります。押すたびに、「D1 入力 (XLR)」 / 「D2 入力 (同軸)」 / 「ディスク再生モード」が切り換わります。

11 ENTER (決定) ボタン

設定/選択した項目を実行します。

12 アンプ操作ボタン

リモコン機能のついた TAD 製アンプを操作することができます。

AMP 〇 - アンプの電源を入れる/スタンバイ（待機状態）にします。

VOLUME - 音量を調整します。

MUTE - 消音します。

リモコンの操作範囲

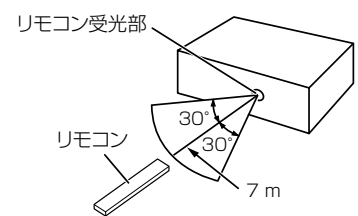
本機をリモコンで操作するときは、下図の範囲内でリモコンを前面のリモコン受光部に向けてください。

● リモコン受光部との間に障害物があったり、受光部との角度が悪いとリモコン操作ができないことがあります。

● 赤外線を出す機器の近くで本機を使用したり、赤外線を利用した他のリモコン装置を使用したりすると、誤動作することがあります。逆に赤外線によってコントロールされる他の機器を使用時にこのリモコンを操作すると、機器によっては誤動作することがあります。

● リモコンの操作可能範囲が極端に狭くなってきたら電池を交換してください。

● 直射日光や蛍光灯の強い光がリモコン受光部に直接当たると、リモコン操作できないことがあります。そのようなときは、設置場所を変えたり、蛍光灯を離してください。



設置

警告

- 設置する場所はこの機器重量に十分耐えられる強度のある、安定した水平・平面な場所をお選びください。倒れたりして、事故の原因になります。

注意

本機を設置する場合には、壁から 10 cm 以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して設置してください。ラックなどに入れるときには、本機の天面から 10 cm 以上、背面から 10 cm 以上、側面から 10 cm 以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

本機の使用環境温度範囲は 5 °C ~ 35 °C、使用環境湿度は 85 % 以下です。
風通しの悪い所や湿度が高すぎる場所、直射日光（または人工の強い光）の当たる場所に設置しないでください。

D3-4-2-1-7c_Ja

設置上のご注意

- 本機の脚は、電源部、本体部ともに 3 点支持のスパイクタイプになっているため、設置面にキズがつく恐れがあります。キズつきを防ぐためには、付属のフェルトを敷いてから設置することをお勧めします。

接続

⚠ 注意

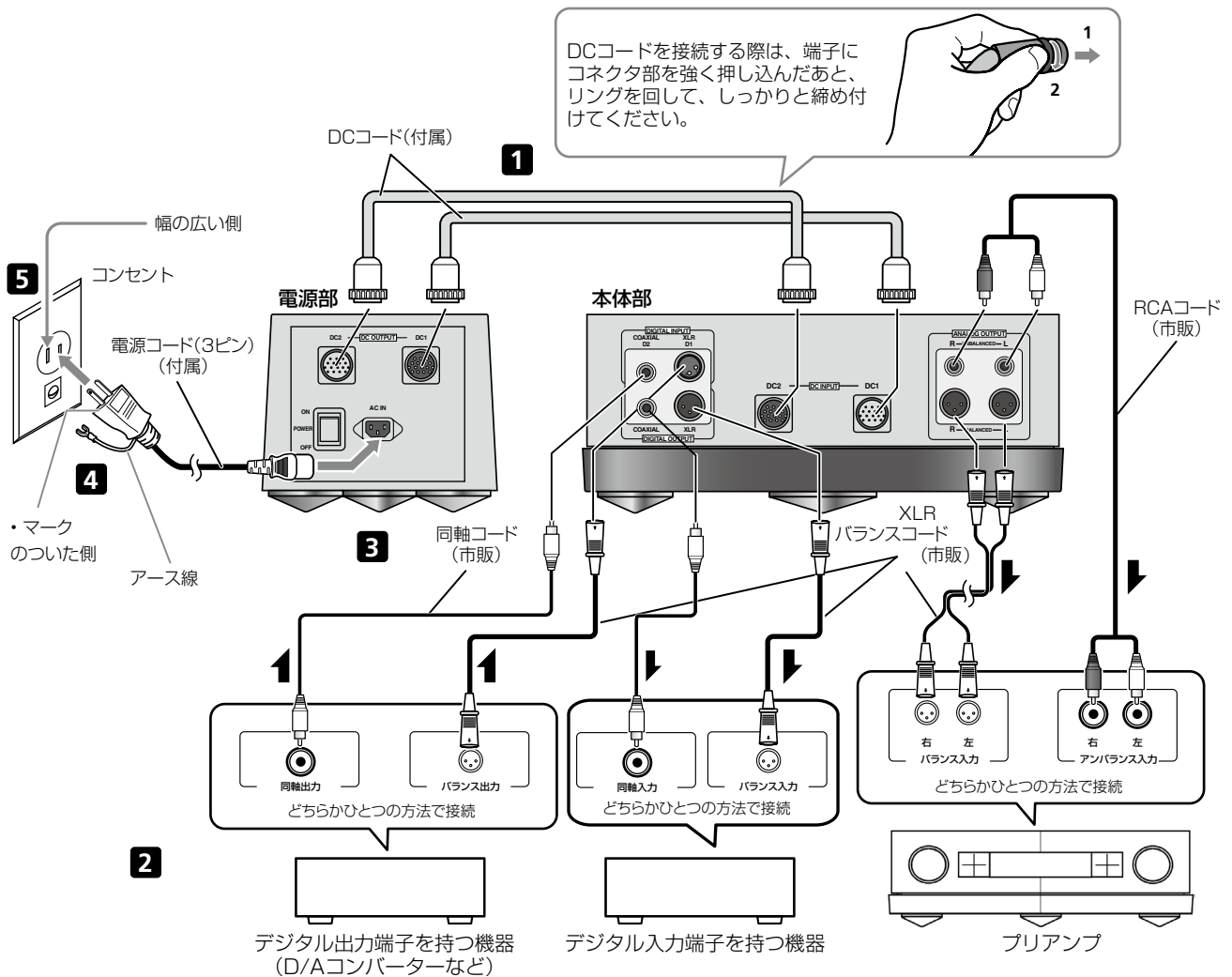
- 本機および各コンポーネントの電源スイッチは、接続がすべて終わるまで、オンにしないでください。
- 機器の接続を行う場合、あるいは変更を行う場合には、必ず電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いてください。電源コードは最後に接続してください。
- 電源コンセントにアース端子が必要な場合は、販売店、工事業者等に工事を依頼してください。



注意

- アース接続を行う場合は必ず、主電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず主電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。
- アース線は、絶対に電源コンセントに挿入しないでください。
- 本機のアース接続は機能アースです。筐体を大地（グラウンド）と同電位にして安定させたい場合などに使用します。安全用アースではありません。

1. 本体部と電源部を付属の DC コードを使って接続する。
2. 各機器を接続する。
3. 付属の電源コードを本機の AC IN 端子に接続する。
(4. アース接続をする。)
5. 壁のコンセント (AC 100 V) に接続する。



ディスクを再生する

本機でディスクを再生するには、以下の手順で操作します。

- 電源部の電源スイッチがオンの状態であることを確認し、本体前面の **○ ボタン**（またはリモコンの DISC PLAYER **○ ボタン**）を押して、電源を入れる。
電源部前面の POWER インジケーターがオレンジ色に点灯していることを確認してください。
- 1. ▲ OPEN/CLOSE ボタンを押す。
ディスクトレイにディスクをセットする。
ディスクをセットしたら、▲ OPEN/CLOSE ボタンを押してディスクトレイを閉めてください。
- 2. ▶ 再生ボタンを押す。
ディスクの再生を開始します。
 - 一時停止するには、再生中に ▶ ボタン（またはリモコンの || ボタン）を押します。
 - 停止するには、再生中に ■ 停止ボタンを押します。
 - 電源をオフ（スタンバイ状態）にするには、本体前面の **○ ボタン**（またはリモコンの DISC PLAYER **○ ボタン**）を押します。



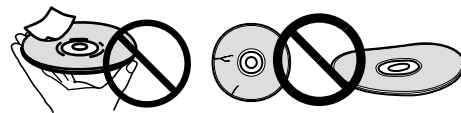
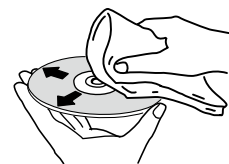
ディスクの取り扱いかた

保管

- 必ずケースに入れ、高温多湿の場所や直射日光のあたる場所・極端に温度の低い場所を避けて垂直に保管してください。
- ディスクに付いている注意書は必ずお読みください。

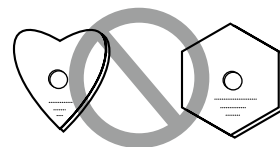
ディスクの取り扱い

- ディスクに指紋やホコリが付くと、再生ができなくなることがあります。このようなときは、クリーニングクロスなどで内周から外周方向へ軽く拭いてください。そのとき、汚れたクリーニングクロスは使用しないでください。
- ベンジン、シンナーなどの揮発性の薬品は使用しないでください。また、レコードスプレー・帯電防止剤などは使用できません。
- 汚れがひどいときは、柔らかい布を水に浸してよく絞ってから汚れを拭き取り、そのあと乾いた布で水気を拭き取ってください。
- 損傷のあるディスク（ひびや反りのあるディスク）は使用しないでください。
- ディスクの信号面に傷や汚れを付けないでください。
- ディスクに紙やラベル用シールなどを貼り付けないでください。ディスクが反って、不具合が発生する恐れがあります。また、レンタルディスクはラベルが貼ってある場合が多く、のりなどがはみ出している恐れがありますので、のりなどはみ出しがないことを確認してからご使用ください。
- ディスクを2枚重ねて再生しないでください。



外径 12 cm以外のディスクについて

- 本機では、外径 12 cmの丸いディスクのみ再生できます。特殊な形のディスク（ハート型や六角形など）や 8 cm ディスクは故障の原因になりますので、ご使用にならないでください。



レンズのクリーニングについて

- レンズにゴミやホコリがたまると、音飛びすることがあります。このような場合は、「保証とアフターサービス」(18 ページ)をお読みのうえ、清掃をご依頼ください。市販されているクリーニングディスクを使用するとレンズを破損する恐れがありますので、ご使用にならないでください。

ディスクの結露について

- 冬期などにディスクを寒いところから暖かい室内に持ち込んだとき、ディスクの表面に水滴が付くことがあります（結露）。ディスクが結露していると再生が正常にできないことがありますので、ディスクの表面の水滴をよく拭き取ってから使用してください。

設定をする

ECO（省エネ）モードを使う

本機は、20分以上ディスクを再生しないか、入力信号がないときに、自動的にスタンバイに移行するかどうかを設定します。お買い上げ時は、ECO OFFに設定されています。

1. 本体前面の **⏻** ボタン（またはリモコンの DISC PLAYER **⏻** ボタン）を押して、本機をスタンバイ状態にする。
本体前面の POWER インジケータが赤色に点灯します。
2. 本体前面の **▲** OPEN/CLOSE ボタンを押しながら、本体前面の **⏻** ボタンを押す。
本体前面の **◀◀** ボタンを押すと ECO OFF（自動的にスタンバイに移行しない設定）、本体前面の **▶▶** ボタンを押すと ECO ON（自動的にスタンバイに移行する設定）に切り換わります。

注意

- ECO モードをオン（ECO ON）に設定すると、電源の切り忘れによる無駄な電力の消費を防ぐことができます。

SACD の出力レベルを抑えて聴く

SACD を再生し、出力が大きすぎて音声が歪む場合に、出力レベルを抑えて聴きやすくすることができます。お買い上げ時は、DSD 変調率 50%（出力レベル大）に設定されています。

- 本体前面の **■** ボタンを押しながら、本体前面の **◀◀** ボタンを押す。
押すたびに 50%（出力レベル大）と 100%（出力レベル小）が切り換わります。

ハイサンプリングモードで出力する

デジタル音源のサンプリング周波数を 44.1 kHz に変換し、デジタル出力することができます。お買い上げ時は、アップコンバート機能により、88.2 kHz に設定されています。

- **■** ボタンを押しながら、**▶▶** ボタンを押す。
押すたびに 44.1 kHz と 88.2 kHz が切り換わります。なお、SACD は、44.1 kHz に固定されています。

本機を D/A コンバーターとして使う

- ディスク停止中に本体前面の DAC ボタン（もしくは、リモコンの DAC MODE ボタン）を押す。

押すたびに、D1 入力（XLR）、D2 入力（同軸）、ディスク再生モードが切り換わります。
入力信号を受信している時は In、受信していない時は — と表示されます。

ALL RESET

ディスク再生モードに設定されます。

ECO モードは ECO OFF に設定されます。

DSD 変調率 50%（出力レベル大）に設定されます。

ハイサンプリングモードは 88.2 kHz に設定されます。

SACD ハイブリッドディスク設定は SACD 層に設定されます。

- スタンバイ中に **■** ボタンを押しながら、**⏻** 電源ボタンを押します。

故障かな？と思ったら次のことを調べてみてください。意外なミスが故障と思われがちです。また、本機以外が原因の場合も考えられます。ご使用の他の機器および同時に使用している電気機器も、あわせてお調べください。コンピューターの設定については、TADのWebサイト (<http://tad-labs.com>) をご覧ください。次の項目を調べても症状が直らない場合は、修理をご依頼ください。

症 状	原因と思われること	処 置
設定した内容が消えてしまった。	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の電源が入っているとき、強制的に電源コードを抜く、または停電などが起きると、設定した内容が消えてしまうことがあります。 ● 本機の AC INLET から電源コードが外れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源コードは、電源スイッチをオフにして、表示窓の表示が消えてから抜いてください。特に他機器の AC アウトレットに電源コードを接続しているときはご注意ください。接続している機器の電源と連動して本機の電源が切れます。電源コードは、なるべく壁などのコンセントに接続することをお勧めします。 ● AC INLET に電源コードをしっかりと接続する。
音が出ない。	オーディオコードのプラグが十分差し込まれていませんか？	オーディオコードをしっかりと接続してください。
	接続しているオーディオコードが断線していませんか？または汚れていませんか？	オーディオコードのプラグや本機の音声出力端子、または接続したアンプなどの音声入力端子が汚れていたら、汚れを拭き取ってください。
	ディスクが汚れていませんか？	ディスクを清掃してください。
	一時停止をしていませんか？	再生してください。
	接続したアンプなどの音量が最小になっていませんか？	アンプに接続したときは入力切換、およびスピーカーの設定を確認してください。
	本機のライン出力ボリュームの音量レベルが下がっている。	音量を調整してください。
	本機が消音（ミュート）状態（-が点滅）になっている。	リモコンの MUTE ボタンを押して消音を解除してください。
入力を合わせても音が出ない。	入力端子の接続が正しくない。	接続を再確認してください。
	アンプが消音（ミュート）状態になっている。	アンプの MUTE ボタンを押して消音を解除してください。
	音量が下がっている。	音量を調整してください。
無入力でもノイズが聞こえる。	電源そのものにノイズが残っている。	コンピューターなどのデジタル機器とタコ足配線になっていないか確認してください。
音が歪んでしまう。	アンプの PHONO 端子に接続していませんか？	アンプの PHONO 端子には接続しないでください。
	SACD ディスクの記録レベルが規定より大きい。	SACD の出力レベルを下げてください。（16 ページ）
SACD と CD で音量差を感じる。	ディスクの記録方式の違いにより音量に差があります。	本機の故障ではありません。
デジタル入力の音が出ない。	デジタル接続が正しくない。	デジタル接続を確認してください。
	デジタル出力レベル調整機能がついている CD プレーヤーなどのデジタル出力レベル設定が低すぎる。	プレーヤーのデジタル出力設定を適切に修正してください。
	再生ソフトウェアのデジタルフォーマットに対応していない。	出力機器が PCM 以外の音声信号（ドルビーデジタル、DTS など）に設定されているときは、PCM に設定を変更してください。
デジタル出力からデジタル録音ができない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 88.2 kHz 出力に設定されている場合は、レコーダーにより記録できないことがあります。 ● CD-R などのコピー制御が入っているディスクを再生している場合は、録音できないことがあります。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 44.1 kHz 出力に切り換えます。 ● 録音することはできません。

症 状	原因と思われること	処 置
電源が自動的に切れる。	ECO (省エネ) モードが ON になっていると、20 分以上本機の操作がない場合に電源が切れる。	ECO (省エネ) モードを OFF にしてください。(16 ページ)
ディスプレイ表示が見えない。	表示認識エリアは左右 45° 以内である。 消灯 (ディスプレイオフ) になっている。	正面から見てください。 リモコンの DISP OFF ボタン を押して消灯を解除してください。
リモコンで操作できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● リモコンの電池が消耗している。 ● 距離が離れすぎている。 ● 角度が悪い。 ● 途中で信号をさえぎるものがある。 ● 蛍光灯などの強い光がリモコン信号受光部に当たっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池を交換してください。 ● 7 m 以内、左右 30° 以内で操作してください。 ● 障害物を取り除くか、操作する場所を移動してください。 ● リモコン受光部に光が直接当たらないようにしてください。

静電気など、外部からの影響により本機が正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源コードを一度抜いて再び差し込むことで正常動作になる場合があります。これで解決しないときは、パイオニア修理受付センターまたはお買い求めの販売店様にご相談ください。

本機は家庭用オーディオ機器 (オーディオ・ビデオ機器) です。店舗などにおける BGM を目的とした長時間使用、車両・船舶への搭載、野外での使用などはしないでください。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。隣近所への思いやりを十分にしましょう。ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には気を配りましょう。近所へ音が漏れないように窓を閉め、お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

仕様

形式.....	ディスクプレーヤー
電源.....	AC 100 V、50 Hz/60 Hz
消費電力.....	43 W
(待機時).....	0.5 W
外形寸法 (幅×高さ×奥行) :	
本体部.....	450 mm × 185 mm × 440 mm
電源部.....	220 mm × 185 mm × 430 mm
質量 :	
本体部.....	26.5 kg
電源部.....	14.0 kg

アナログ音声出力 (2ch)

音声出力レベル (負荷抵抗 100 k Ω) :	
バランス出力.....	450 mVrms (1 kHz、- 20 dB)
アンバランス出力.....	220 mVrms (1 kHz、- 20 dB)
バランス出力.....	XLR ステレオ 1 系統
アンバランス出力.....	RCA ステレオ 1 系統
出力端子.....	XLR ステレオ 1 系統
周波数特性 (負荷抵抗 100 k Ω) :	
CD.....	4 Hz ~ 20 kHz
SACD.....	4 Hz ~ 40 kHz
S/N 比 :	
CD.....	115 dB
SACD.....	110 dB
デジタル入力 (24 bit).....	115 dB

デジタル音声入出力

入力サンプリング周波数.....	32 kHz ~ 192 kHz
バランス入力.....	XLR 端子 1 系統
同軸入力.....	RCA 端子 1 系統
出力サンプリング周波数.....	32 kHz ~ 96 kHz
バランス出力.....	XLR 端子 1 系統
同軸出力.....	RCA 端子 1 系統

付属品

リモコン.....	1
単 4 形乾電池.....	2
DC コード.....	2
電源コード.....	1
ポリシングクロス.....	1
フェルト.....	2
保証書.....	1
取扱説明書 (本書)	

上記の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

保証とアフターサービス

保証書 (別添)

保証書は、必ず「お買い上げ店名・お買い上げ日」などの記入を確かめて販売店から受け取り、内容をよく読んで、大切に保存してください。

保証期間は購入日から 1 年間です。

補修用性能部品の保有期間

弊社はこの製品の補修用性能部品を、製造打ち切り後 8 年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご質問、ご相談

お買い求めの販売店へご相談・ご依頼ください。また、ご転居されたり、ご贈答品などでお買い求めの販売店に修理のご依頼ができない場合は、パイオニアカスタマーサポートセンター TAD 相談窓口にご相談ください。

修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に取扱説明書の「故障かな?と思ったら」(17 ページ)の項目をご確認ください。それでも正常に動作しないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い求めの販売店へご依頼ください。

連絡していただきたい内容

- ご住所 :
- お名前 :
- お電話番号 :
- 製品名 : ディスクプレーヤー
- 型番 : TAD-D700
- お買い上げ日 :
- 故障または異常の内容 (できるだけ詳しく) :
- 訪問ご希望日 :
- ご自宅までの道順と目標 (建物や公園など) :

■ 保証期間中は :

修理に際しては、保証書をご提示ください。保証書に記載されている当社の保証規定に基づき修理いたします。

■ 保証期間が過ぎているときは :

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

〈各窓口へお問い合わせ時のご注意〉

「0120」で始まる電話番号は、携帯電話・PHS・一部のIP電話などからはご使用になれません。ナビダイヤルは携帯電話・PHSなどからご利用可能ですが、通話料がかかります。また、一部のIP電話などからはご使用になれません。正確なご相談対応のために折り返しお電話をさせていただきますので発信者番号の通知にご協力いただきますようお願いいたします。

商品についてのご相談

TAD商品の取り付け・組み合わせなどについては、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

- 商品のご購入や取り扱い、故障かどうかのご相談窓口およびカタログのご請求について

バイオニアカスタマーサポートセンター TAD相談窓口

受付時間 月曜～金曜 9:30～12:00、13:00～18:00
(土曜・日曜・祝日・バイオニアカスタマーサポートセンター休業日は除く)

【固定電話からのご利用は】 0120-995-823(無料)

※番号をよくお確かめの上でおかけいただけますようお願いいたします

修理についてのご相談

修理・故障については、お買い求めの販売店様へお問い合わせください。

修理をご依頼される場合は、取扱説明書の「故障かな?と思ったら」を一度ご覧になり、故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、①型名②ご購入日③故障症状を具体的に、ご連絡ください。

インターネットホームページ

本書以外に下記ホームページもご覧ください。

<http://tad-labs.com/jp/support/index.html>

令和5年1月現在 記載内容は、予告なく変更させていただくことがありますので予めご了承ください。

VOL.061



TAD

TECHNICAL AUDIO DEVICES LABORATORIES, INC.

© 2022 株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
禁無断転載

JIS C 61000-3-2適合品 D50-5-10-1_A_Ja

株式会社 テクニカル オーディオ デバイセズ ラボラトリーズ
〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート
<http://tad-labs.com>